



◎ 広報

かがみん

2012年

1

No.611

今年ほよい年になりますように

12月16日(金)、鏡石保育所の年長児が、家族へ宛てた手作りの年賀状をポストに投函しました。子どもたちは、年賀状に新しい年への希望を込めて送り出していました。



鏡石町長 遠藤 栄作

「復興と進化の融合」をめざして

平成24年の新春を迎え、今年は、町民の皆様にとって幸多き年でありますように、衷心より願うものであります。

震災から10ヶ月が経過しようとしておりますが、応急から復旧へ、本格的な復旧の途についた土木災害工事や農地災害工事、公共施設等の改修工事、そして継続した被災者支援事業など、町としましては、これまで全力で取り組んで参りました。応急から復旧へ、そして復興・再生は、昨年そして今年も、最大で最優先の課題となっております。

私も町長に就任してから一年半が経過しましたが、「進化する鏡石町」の町づくりに向かって歩みだした平成23年度、進化するプロジェクト事業や各種イベントの一部を、震災のため残念ながら休止せざるをえませんでした。町の財政運営も厳しい状況下であり、震災対策関連予算が大きな比重を占めることからの苦しい判断でありました。

震災復旧事業は最優先課題であります。都市基盤の整備、教育・福祉の充実、産業の振興などの施策の中には立ち止まることのできない事務事業も多くあります。今後も引き続き行財政改革に取り組み、健全財政運営を基本とする中で、優先順位をつけながら効果的な事業の遂行により、町民の皆様の期待にこたえていく所存であります。

一方、現在策定を進めている第5次総合計画(平成24年から向こう10年間のまちづくりの基本計画)では、震災からの復興計画も包含すべく考えておりますが、復興と進化をいかに融合させていくかの焦点については、震災で改めて感じた人と人とのつながりや支え合う絆の大切さを復興計画の柱にしたいと考えております。

さらに本年は、昭和37年に鏡石村から鏡石町に町制を施行して50年の節目の年でもあります。半世紀という歴史を振り返り、将来の鏡石町を展望し、誓いを共有する年でもあります。町民の皆様と共に復興と記念を紡ぐ形での事業を展開したいと考えております。

復興と進化をいかに融合させていくか、これからも町民にとってもうあるべきか、どのように改善すべきかを検討し、実行に移して参りますので、本年も格段のお力添えを頂きますようよろしくお願い申し上げます。



鏡石町議会議長 渡辺 定己

町民と一体となって震災を乗り越える

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、震災からの復旧途上にあっても、力強くご健勝にて新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、平素から議会活動に、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私達にとつての平成23年3月は未だ終わっておらず、皆各人におかれましては例年であれば、今年こそはと気分を新たに、心機一転、頑張ろうとお考えの方も多いかと存じますが、今年のお正月は複雑な心境の中、お迎えになられた方も多いのではないでしょうか。

千年に一度と言われる東日本大震災は、私たちの心の中にそれほど大きな衝撃を与えたものと感じております。

しかし、被災を嘆いてばかりいても、未来は開けて参りません。年が改まった今、町民一丸となつてこの未曾有の大震災からの復旧と復興に立ち上がりたく存じます。

町議会としても、昨年度上半期は震災の応急対応、9月には特例延長期間を終えての町議会議員一般選挙が行われ、6名の新人議員を含む12名の議員が当選いたしました。選挙期間を通して強く感じられましたのは、やはり安心安全のまちづくりと放射能問題対応であります。

これらの課題につきましては、「出来るものから、とにかく早く」処理することが肝要であり、そのための町執行に対する提言や、関係機関への要望として、町民皆様方の生の声をお届けすべく全力で活動して参りましたが、まだまだ十分とは言えず、今後により一層努力を惜しまない覚悟であります。

本年は議会自体もより活性化させたいと考えており、そのための事業プランも用意したいと考えております。いずれにしましても、町民の皆様が一日も早く復旧復興を実感され、震災以前よりも充実した生活が送れるようになった時が真の「新年・お正月」を迎える時ではないでしょうか。簡単でないことは明らかですが、何としても町民の皆様と一体となって震災を乗り越えたいと考えております。

新生議会として鋭意努力してまいりますので、今年もより一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。



地デジの準備はお済みですか？

～今までのテレビ放送(アナログ放送)は、平成24年3月31日に終了します～

アナログ放送から地上デジタル放送への移行は、今年の7月に行われる予定でしたが、被災3県については、平成24年3月31日まで延期されました。今回は、まだ地デジへの移行がお済みでない方への支援などをお知らせします。



©日本民間放送連盟 2009



【地デジの何がかわるの?】

現在、様々な場面で私たちが使用している電波には限りがあります。その電波を今後にも有効に活用するため、テレビ放送の電波をアナログから地上デジタルへ変えることで、約35%の余裕が生みだされます。この電波は、今後より進むであろうデジタル社会の中で活用される予定です。例えば、車同士の通信を可能にし、交通事故を減らしたり、緊急災害時に現場の状況を的確に音と映像で送り、人命を救助したりすることが考えられています。

【地デジを見るには】

これまで使用していたテレビでは、地デジは視聴することが出来ません。視聴するためには、デジタルテレビに買い替えたり、チューナーを買い足して接続することが必要です。地デジにすることで、これまでよりも画像がきれいになり、データ放送が利用できたり、番組表がテレビ上で見れたり、と多くの利点があります。地デジの導入や地デジについての疑問などがある場合は、デジサポ福島(024-

- 505-1010)までお問い合わせください。
- 【地デジ放送受信のための支援】
 - 総務省では、経済的な理由でまだ地上デジタル放送が視聴できない世帯に対して次のような支援を行っています。
 - ◇NHK放送受信料全額免除世帯(震災により半壊以上の被害を受けた世帯を含む)
 - ①チューナー(1台)をお住まいへ配送します。
 - ②簡易なチューナーの設置やアンテナ工事が必要な場合は、無償で工事を行います。
 - ◇世帯全員が町民税非課税の方
 - ①チューナー(1台)をお住まいへ配送します。
 - ②チューナーの設置方法と操作方法を電話でサポートします。
 - ◇申込期限
 - 平成24年3月31日まで
 - ◇問合せ先
 - 地デジチューナー支援実施センター
 - ☎0570-033840
 - (NHK放送受信料全額免除世帯)
 - ☎0570-023724
 - (町民税非課税世帯)



鏡石町議会12月定例会

町長説明要旨

鏡石町の人口は、これまで微増傾向にありましたが、3月から10月にかけての増減率がマイナス0.62%と減少しました。背景に原発事故の影響があることは事実であり、地域の再生には、故郷で安心して子育て出来る環境を整えることが重要であることから、今後も除染対策や雇用対策に取り組む必要がある

町議会12月定例会が12月7日から12日までの5日間の日程で開催されました。ここでは、議会で審議された主な内容をお伝えします。

【職員給与減額についての議案などを議決】

提出された議案は13件で、主な議案については、下記の通りです。提出された全議案が、原案の通り可決されました。職員給与に關する条例改正では、県人事委員会勧告に合わせ、行政職給料表が0.23%引き下げられました。

【約2億円を増額補正】
今議会で提出された一般会計の補正予算の総額は2億546万円で、主な内容は下記の通りです。
今回の補正予算で平成23年度の一般会計の予算総額は、76億5,415万円となりました。

【二小校舎改築の基本方針】

一般会計補正予算一小改築の基礎設計委託料2,100万円についての質疑では、一小改築の基本方針が次の通り示されました。今後は、この基本方針により事業を進めていくこととなります。

一、阿武隈川上流浸水対策連絡協議会が設立されました。今後はソフト、ハード両面から具体的な対策を話し合っていくこととしています。
今年度の主要な事業の進捗状況では、震災に伴う各復旧工事については、災害査定が終了し、早期完成に向けて計画的に工事を発注していきたく考えております。
原発事故に伴う放射能汚染対策として実施している農作物のモニタリング調査では、本町で生産された米については、全て不検出となり出荷等が可能になったところがあります。また、町独自で行って

- ①校舎建設の位置については、現在地に再築する。
- ②校舎主体構造・階層については、主体構造は鉄筋コンクリート造りを基本とし、階層にあつては耐震・安全を第一に、敷地面積などを含め総合的に検討する。
- ③校舎の機能及び配置等については、具体的には基本設計の段階で検討するが、エコ機能を取り入れた施設とするなどの6重点項目について配慮することとする。
- ④その他防災拠点、敷地内の緑化、駐車場の確保について配慮する。

【主な提出議案】

- 職員給与に關する条例の一部を改正する条例の制定について
- 町有英資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 公共下水道災害復旧工事(久来石・上町小分区)請負契約の締結について
- 公共下水道災害復旧工事(不時沼・鏡沼・高久田・大池小分区)請負契約の締結について
- 公共下水道災害復旧工事(旭町・緑町小分区)請負契約の締結について
- 駅中央線外道路災害復旧工事請負契約の集結について
- 一般会計補正予算(主な内容)
 - ▼放射能濃度測定器購入
 - ▼公共施設災害復旧事業
 - ▼中学校施設維持管理工事
 - ▼町民プール施設維持修繕
 - ▼台風15号農業施設災害復旧工事
- 国民健康保険特別会計補正予算

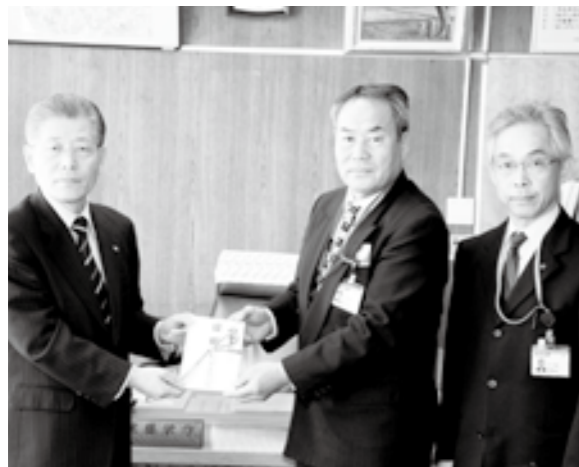
東日本大震災等の体験・記録・教訓等を募集します

福島県では、3月11日に発生した、東日本大震災という未曾有の大災害について、次の世代に継承していくことを目的として、震災、原子力災害等の体験、記録(ホームビデオや携帯電話等に記録された映像など)、記憶、教訓等を募集しています。
ご協力いただける方は、次の連絡先あてに電話、FAX又はメールにより連絡をお願いします。ご提供いただく情報については、改めて日時等については、相談、ご連絡の上、収集を行います。
なお、体験、記憶、教訓等については、お話ししていただいている状況を映像として収録し収集することとなります。

《募集の対象》

- 地震・原発災害から避難するにあたっての体験、記録
- 地震・原発災害から避難する方を指示、誘導するにあたっての体験、記録
- 風評被害の体験、記録
- 避難生活全般についての体験、記録
- 携帯電話、ホームビデオに記録した映像等
- 被災前の町の様子等を記録した映像等

【問合せ先】
福島県歴史資料館(福島市春日町5-54)
☎: 024-534-9220
受付時間 9:00~16:30
(土日祝日、年末年始を除く)
Eメール: office@history-archives.fks.ed.jp
FAX: 024-534-9195



▲寄付に訪れた、佐藤寿恵郵便事業(株)須賀川支店長(中)、松川繁延郵便事業(株)鏡石郵便局長(右)

防 災車購入費を寄付

＝日本郵政募金会寄付＝

12月14日(水)郵便事業株式会社より、復興支援として、町へ防災車両の購入費用約360万円が寄付されました。

寄付は、郵便事業株式会社で、「東日本大震災寄付金付きかもめ〜」と特殊切手「東日本大震災寄付金」に付加された寄付金から贈られました。

寄付に訪れたのは、郵便事業(株)須賀川支店長ら2名で、遠藤町長へ寄付金を手渡しました。

町では、災害時に使用する防災車両が購入から22年が経過しており、その導入費用に充てる予定で、車両は年度末に配備される予定となっています。



▲福島県出身のタレントなすびさんも販売の応援に駆け付け、町の法被を着て支援していただきました

伝 統のボロ市で町をPR

＝世田谷ボロ市東北復興支援＝

12月15日(木)・16日(金)の2日間、世田谷で長い歴史を持つボロ市で、復興支援として被災地の市町村の物産店が市に軒を並べ、好評を博しました。

これは、ボロ市を主催する、世田谷駅前商店街振興組合のご厚意により、出店料やブースの確保など援助していただいで参加が実現しました。

当日は、約30万人の人出があり、町観光協会の会員らがリンゴやお米など農産物を中心に販売し、ほぼ完売するほど好評でした。また、町の特産品として、鏡の栗などをお客様に振る舞い、町の元気をPRしてきました。

安 全な年末年始を

＝年末年始の事件事故防止キャンペーン＝

12月16日(金)イオンスーパーセンター鏡石店で、町交通安全協会、町交通安全母の会、町TPT(少年のための少年による非行防止活動)の3団体合同で、年末年始の事件事故防止キャンペーンが行われました。

集まった約20名の皆さんは、交通安全の黄色いジャンパーと、非行防止、防犯のシンボルカラーの赤い帽子をそれぞれ身につけると、交通事故や犯罪が多くなる時期を前に、お店に訪れたお客さんにチラシやティッシュを配り、事件事故の防止を呼びかけました。師走の買い物に訪れた皆さんは、チラシを見ながら、防犯や事故防止について考えていたようでした。



▲寒空の中、訪れたお客さんにチラシなどを配り、事件事故の防止を呼びかけました

まちの話題 フォトアルバム

ふ れあいの場を提供

＝ホットカフェ“ほのぼの”オープン＝

12月17日(土)町老人福祉センター内にふれあいカフェ“ほのぼの”がオープンしました。

これは、町ボランティアセンターが企画運営し、被災者や町の皆さんがくつろげる場を提供したいと開催したもので、今後、毎週土曜日午前10時から午後3時までオープンするそうです。

カフェでは、来ていただいた皆さんに楽しんでもらえるよう、毎週イベントも用意しているそうです。センターでは、「被災者の皆さんはもちろん、どなたでもご利用になれますので、ぜひおいでいただいて、くつろいでいって下さい」と話していました。



▲カフェには飲み物や軽食が用意されています(カフェ利用料100円)

- 《材料》 4人分
- ご飯 600g
- 焼きのり 2枚
- いくら大さじ 3
- まぐろ刺身 50g
- いか刺身 50g
- 卵 1個
- きゅうり薄切り 8枚
- 合わせ酢(酢大さじ 4、砂糖小さじ 2、塩小さじ 半分)



今月の健康メニュー

「オードブルのり巻き」

お正月の簡単おもてなし料理

お正月といえばおせち料理ですが、おせち料理は糖分や塩分が多く含まれます。また、自分が食べた量が分からず、ついつい食べ過ぎてしまうこともあります。

- 餅は1切れでご飯1膳分のカロリーがあるので、おせち料理やお雑煮など食べ過ぎると体重増加につながります。新年は低カロリーで見た目が豪華なのり巻きでおもてなしをしてはいかがでしょうか？
- ① 温かいご飯に合わせ酢を混ぜ、冷まします。
 - ② 焼きのりは半分に切って巻きすの上のせ、ご飯を広げて巻き6等分に切ります。
 - ③ まぐろ・いかの刺身を刻みます。
 - ④ 卵は厚焼きにして細かく切ります。
 - ⑤ のり巻きの上に具をのせてできあがり。

町 民の皆さんの復興への願い

＝復興支援第26回復興バザー＝

11月23日(木)町社会福祉協議会と福祉バザー実行委員会が主催した「復興支援第26回復興バザー」は、例年以上の賑わいを見せ、多くの義援金が集まりました。

毎年恒例となっている福祉バザーですが、今年は、復興支援として売上金が町に寄付されることになりました。バザーでは、行政区を通じて約2,700点の出品があり、訪れた皆さんは次々に商品を買って求めていました。

売上金約45万円は、11月29日(火)、正木正秋社会福祉協議会長と有我忠福祉バザー実行委員長が、町へ「バザーへ参加していただいた町民の皆さんの復興への願いです」と遠藤町長へ手渡されました。



▲会場には約500人のお客さんが詰めかけ、賑わいを見せました

環境・ECO通信

Vol. 30

身近な地球温暖化対策
「省エネ」で節約生活

1・2月は1年の内でも特に寒さが厳しい時期です。エアコン、石油ファンヒーター・こたつなどの暖房器具が大活躍をします。それに伴い、大量のエネルギーが消費され、大量の二酸化炭素を排出することとなり、地球温暖化にも大きな影響を及ぼします。日頃の生活を見直し、「省エネ」に努めましょう。



地球温暖化

省エネ虎の巻

●暖房は必要なときだけつける。

石油ファンヒーターの使用を1日1時間短縮した場合、年間で灯油16ℓ、約1,280円の節約。部屋の温度は急激に下がらないので、お出かけや寝る15分前ぐらいに切るのがコツ。

●入浴は間隔をあげずに。

2時間放置し、4.5℃低下したお湯(2000ℓ)を追い炊きした場合(1回/1日)、年間でガス38.2㎡、約6,490円の節約。

●冷蔵庫の設定温度は適切に。

周囲温度22℃で、設定温度「強」から「中」に切り替えた場合、年間で61.7KW、1,360円の節約。

●暖房便座は使わないときはフタをしめる。

使用後フタを閉めた場合と開けっ放しの場合の比較、年間で34.9KW、約770円の節約。

これらは、「省エネ」のほんの一例です。

「省エネ」は、地球温暖化防止に役立つだけでなく、生活費の節約にもなります。日頃の生活を見直し、小さなことでもコツコツやるのがコツです。

広告

つらい つらい
誰にも話せない
借金の悩み...

ご相談ください
秘密は厳守
いたします

司法書士法人 あおば事務所

福島事務所: TEL024-533-0243 福島市南中央3丁目7-2
須賀川事務所: TEL0248-72-7057 須賀川市岡東町177

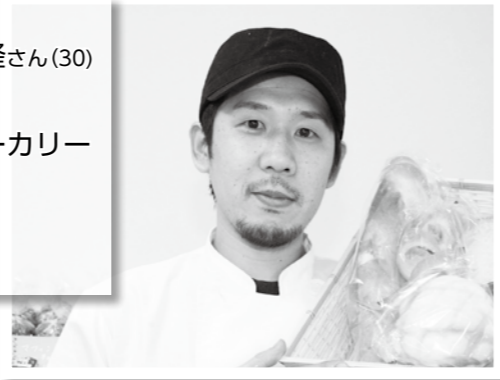
ま 鏡石町の期待の星 ちのホープ

今月は、地元密着型パン屋「ホームベーカリーまつや」さん(中央地内:旧道沿い役場北側)の製造責任者、齋藤義隆さんにお話をうかがいました。

お名前 齋藤 義隆さん(30)

お勤め先 ホームベーカリーまつや

業種 飲食業



Q:最近、店舗販売も始められましたが、おすすめのパンは?

今までは、学校給食や卸売りで手一杯でしたが、もっと地元の方に美味しいパンを提供できればと、店舗販売を始めました。当店のパンは全て手作りですので、全部自信をもってお勧めできますが、フランスパンやワッフルは売れ筋ですね。

Q:パン作りで難しいことはどんなことですか?

温度管理には特に気を使っています。それと、新商品の開発にも力を入れています。最近のヒットは「バリバリワッフル」でワッフルの皮を香ばしく焼き上げたもので、新しい食感が味わえるのでぜひ食べてみてください。

Q:パン屋さんになったきっかけは?

もちろん家がパン屋だったので、高校卒業後はなんとなく、修業に出ましたが、そこで、パン作りのおもしろさに気づきました。

Q:休みの日には何をしていますか?

最近一眼レフカメラを買ったのですが、これが面白くて、主にポートレートを撮っています。これからちょっとずつレンズなど買い足したいなと思っています。

Q:最後に一言お願いします。

地元の皆さんに美味しいと思っただけのようなパン屋さんを目指しています。ぜひ一度うちのパンを食べてみてください、お待ちしております。

このコーナーにご協力いただける方を募集します。職場のホープをご紹介ください。
問合せ先: 町総務課(☎62-2111)

広告

所得申告の時期が近くなりました。今から準備!
☆農家、商店の経営者、法人、年金受給者の方々の記帳及び決算書作成代行を承ります。
☆農地など土地名義変更、相続、遺言、登記手続、借金返済の悩み...などなどご相談ください。

須藤勝行政事務所

(行政書士) 須藤 勝(元 町役場職員)
(住 所) 鏡石町不時沼294
(TEL) 62-3381

Q:調査の結果はどんなことに役立つの?

A:調査の結果は大切な資料として暮らしや身近な地域、そして日本のこれからのために役立てられます。



Q:調査の内容が漏れることはないの?

A:全ての情報は保護されます。調査員をはじめ関係者には統計法により秘密保持の義務と反した時の罰則が定められています。また、調査票に記入された内容は統計作成のためだけに用いられ、目的外(税の資料)などには絶対に使用しません。



Q:必ず答えなければならないの?

A:調査への報告は法律で義務づけられています。回答を頂けなかったり、不正確、不完全な部分があると精度の低い統計しか作成できません。統計法には報告の義務とこれに反した時の罰則が定められています。



平成24年2月1日は 経済センサス活動調査です

昨年(2012年)の10月1日に行われた国勢調査に続き今年度は、経済の国勢調査というべき経済センサスが行われます。経済センサスは、国内の全ての事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整理



備することを目的としています。また、これまで産業ごとに行っていた調査を一括で実施することで事業者の負担軽減にもつながります。【調査の内容は?】調査の対象は、町内に在住する全ての事業所、企業などで、基準日の平成24年2月1日における状況を調査します。調査項目は、経営組織、事業所の開設時期、従業員数、事業所の主な事業内容、売上及び費用の金額などを調査票に記入していただきます。調査票は国の委嘱を受けた調査員が訪問し1月中旬に配布し、2月以降に回収します。事業所の皆さんのご協力をお願いいたします。◎問い合わせ先 総務課 ☎62-2111

鏡石町フォトグラフ

～ 国道4号線の車窓から ～

町を南北に貫く国道4号線。4車線への拡幅工事が進められ、町の風景が変わって来ています。風景の変化を写真で眺めてみます。



▲2007.12.2撮影 役場前交差点歩道橋上より



▲2011.11.2撮影 役場前交差点より



▲2011.12.13撮影



▲2011.12.13撮影 旧一小校舎3階より



▲2011.12.12撮影

建物を解体した方へ

平成23年12月31日までに建物(住宅、倉庫、作業場など)を解体した方は、税務町民課に「家屋滅失届」を提出してください。

税務町民課 ☎62-2114

確定申告相談についてのお知らせ

平成24年2月中旬から確定申告相談が行われます。申告相談の際には、収支内訳書や医療費明細書など確定申告書を作成するための基礎資料が必要となります。

税務町民課 ☎62-2114

住宅借入金等特別控除を受けられる方の確定申告書作成指導会について

この指導会は、申告書の製作成及び提出までを目的としており、申告に必要な書類を必ず持参ください。

- 対象者 住宅借入金等特別控除を受けられる方(平成23年中に入居された方)
●日時 1月27日(金)～1月31日(火)(土・日を除く)
●場所 須賀川市産業会館

須賀川税務署 ☎75-2194

鏡石町育英資金奨学生募集

町では、平成24年度入学予定の育英資金奨学生を、次の募集は、入学準備金の早期貸付分のみ募集となります。

- 募集人員 若干名
●応募資格 ①鏡石町に引き続き2年以上住所を有し、成績が良く、品行方正で身体強健な方。
②経済的な理由で修学が困難な方。
③他の奨学金を受けない方。
●募集期間 1月13日(金)まで
●申し込み・問い合わせ先 教育委員会教育課 ☎62-3459

図書館だより

- 読み聞かせ会 1月21日(土) 午前10時30分から
●話し手 読み聞かせボランティア あゆみらい
●内容 紙芝居『ねずみのおもちつき』ほか
●おひざにだっこのおはなし会
●日時 1月25日(水) 午前11時から正午まで
●内容 紙芝居『きゅうきゅうしゃのきゅうちゃん』、手遊び、工作(だるま落し)『タツ君ピンチ!』
●対象者 就園前の幼児とその保護者の方
●新年の開館は1月5日(木)からです。休館中の図書返却は玄関脇の返却ポストでお受けいたします。
なお、ビデオなどは返却ポストに投函すると、破損する恐れがありますので開館時に返却してください。

鏡石町史販売

ふるさとの歴史に触れてみませんか? 4巻セット8,000円にて好評発売中です。
●第1巻 通史編 (分売価格 5,500円)
●第2巻 資料編I (分売価格 6,000円)
●第3巻 資料編II (分売価格 4,800円)
●第4巻 民俗編 (分売価格 4,800円)
すでに失われ、また今失われるのを防ぐため、

農業委員会選挙人名簿登録申請書を提出ください

町選挙管理委員会では平成24年度の農業委員会委員選挙人名簿の登録申請を受け付けております。

- ①町農業委員会の区域内に住所を有する者。
②年齢が満20歳以上の者。
③10アール以上の農地につき耕作の業務を営む者か、その同居の親族などであって年間おむね60日以上耕作している者。

問合わせ先 公民館 ☎62-2031

放課後児童クラブ登録児童募集について

申請書をお持ちの方は、平成24年1月6日(金)までに町農業委員会へ提出をお願いいたします。

問合わせ先 選挙管理委員会 ☎62-2111

町では、平成24年度の鏡石一小・二小第2・二小放課後児童クラブの登録児童を募集いたします。

- 登録要件 (1)町内に居住する小学1年生から3年生の児童で、保護

皆様からのご支援に心から感謝申し上げます

第26回復興支援福祉バザー

- 実行委員会 日本郵政募金会
●アオキ
●ふるさと納税 東京かがみいし会会員一同
●キングレコード 会田くみ子
●石井政清
●(有)東北資源 代表取締役 根本 吉和
※敬称略。12月号広報誌発行後より1月号発行時現在の芳名になります。

1月の納税
●町県民税 (4期)
●国民健康保険税 (7期)
●公共下水道受益者負担金 (4期分)
●介護保険料 (7期)
●後期高齢者医療保険料 (6期)
の納期限は1月31日(火)です。
下記の金融機関での口座振替が便利です。
すかがわ岩瀬農協鏡石支店・須賀川信用金庫各店・東邦銀行各店・大東銀行須賀川支店・鏡石郵便局・福島県商工信用組合鏡石支店

戸籍の窓 11月受付分



Table with columns: 地区, 赤ちゃん, お父さん, お母さん. Lists names and ages for various districts.

Table with columns: 地区, 氏名, 年齢. Lists names and ages for various districts.

この欄への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

火災・救急事故, 交通事故, 人口と世帯数. Summary statistics for fire/emergency incidents, traffic accidents, and population/households.

我が家のアイドル



1515年
5294520461

ますだ ひなた くん(左)
あらた くん(右)



お姉ちゃんたいすきせよ♡

せきね ももか ちゃん



いつもお兄ちゃんて
ケンカしてます(笑)

はが しゅん くん

このコーナーへ掲載いただける我が家の
アイドルを募集しています。詳しくは
町総務課までお問い合わせください。
☎62-2111



駅前地区



笠石・久来石地区



鏡田・高久田地区



成田地区



郷愁の想いを語る

平成23年度 東京かがみいし会総会

東京かがみいし会(佐藤輝雄会長)の総会は、11月19日(土)にスクワール麹町(千代田区)で開催され、約70人が出席しました。

町からは、遠藤町長を初めとする一行が上京し、会員と交流を深めました。

総会では、初めに出席者全員で「牧場の朝」を斉唱し、佐藤会長があいさつされました。続いて遠藤町長及び渡辺議長が祝辞を述べました。続いて、事業報告、事業計画、役員改選など3件の議案が審議され全て原案のとおり承認されました。また、町の震災についての様子などが語られると、出席された皆さんは、想像以上の被害状況に胸を痛めているようでした。

総会後の懇親会では鏡石出身の母親を持つキングレコード演歌歌手の会田くみ子さんによる歌謡ショーが行われ、その迫力の歌声に出席者からは拍手喝采が贈られました。出席された皆さんは久しぶりに会った同郷者と故郷の思い出話に花を咲かせていました。

